

強膜レンズ処方

コツを知ろう

特殊コンタクトレンズの 魅力にせまる part3

2026.5/30 土

10時35分~11時35分

第2会場

Takanawa Gateway 6F
Conference Hall B

これまで、日本国内において、眼鏡または既存のソフトコンタクトレンズのいずれによっても十分な視力矯正が得られない角膜不正乱視を持つ方には、酸素透過性ハードコンタクトレンズ(HCL)を用いることが通常でした。しかし、従来のHCLではレンズの脱落やHCL装用に伴う異物感によるレンズ不耐症のため、装用の継続が困難な例も少なくありませんでした。

海外の調査によると、強膜レンズを処方している施設においては、角膜形状異常を有する患者のおよそ5人に1人の割合で強膜レンズが選択されていることが報告されています。また、HCL全体に占める強膜レンズの割合は世界的に増加しており、この傾向からも、強膜レンズは眼科医および患者様にとって新たな選択肢となり得る可能性を秘めています。

昨年の本講座では、海外の特殊レンズのトレンドや、強膜レンズ処方における自験例を中心に紹介いたしました。

本講座では「強膜レンズ処方のコツを知ろう」というテーマのもと、今後、強膜レンズ処方を取り組まれるご施設様、すでにご導入されている施設様に対し、処方におけるコツやトラブルシューティングを中心に、より実践的な内容をお届けいたします。

本講演を通じて、強膜レンズに関心をお持ちの先生方にとって、臨床現場での一助となれば幸いです。



座長 鈴木 崇 先生

東邦大学医学部
眼疾患先端治療学寄付講座 准教授
医療法人石峰会 いしづち眼科 理事長

【略歴】

1999年 愛媛大学医学部卒業
2006年 愛媛大学大学院医学研究科修了
2008年 Harvard medical School,
Schepens Eye Research Institute 留学
2010年 愛媛大学医学部眼科 助教
2013年 愛媛大学医学部眼科 講師
2016年 Singapore National Eye Centre 留学
医療法人石峰会 いしづち眼科 理事長
2018年 東邦大学医学部 眼疾患先端治療学寄付講座 准教授
2025年 京橋いしづち眼科 理事長

講演

1

強膜レンズの新規導入と 処方のリアル

演者

糸井 素啓 先生

道玄坂糸井眼科医院 副院長



略歴

2010年 東京医科大学卒業
2012年 京都府立医科大学病院眼科入局
2017年 道玄坂糸井眼科医院 副院長
2021年 京都府立医科大学大学院修了
2022年 University of New South Wales,
School of Optometry & Vision Science 留学

講演

2

広がる角膜不正乱視 矯正の選択肢

~強膜レンズの処方ポイントとは~

演者

小島 隆司 先生

名古屋アイクリニック 院長



略歴

1998年 名古屋大学医学部卒業
2000年 社会保険中京病院勤務
2005年 ハーバード大学 Massachusetts Eye and Ear 留学 リサーチフェロー
2006年 イリノイ大学眼科留学 リサーチフェロー
2012年 慶應義塾大学医学部 博士号取得
岐阜赤十字病院眼科 主任部長
2017年 慶應義塾大学医学部眼科学教室 特任准教授
2022年 名古屋アイクリニック 角膜診療 主任
2025年 名古屋アイクリニック 院長